

平成23年度 八戸市公共事業再評価シート

No. 23-③

評価対象事務事業名	十文字・巻河原線 道路改築事業	担当部署(電話)	記入日
		建設部 道路建設課 整備推進グループ 内線(314)	平成23年9月30日 記入(担当者) 元沢 千寿

再評価実施要件	<input checked="" type="checkbox"/> 事業採択後 <input checked="" type="checkbox"/> 5年経過 <input type="checkbox"/> 未着工 (その他) _____ <input type="checkbox"/> 再評価実施後 <input type="checkbox"/> 10年経過 <input checked="" type="checkbox"/> 継続中	八戸市公共事業再評価実施要綱第3条第2項
----------------	---	----------------------

1 事業の概要

総合計画の 施策の体系	分野	5. 安全・安心なまちづくり
	大施策	5-5. 交通環境の整備
	中施策	(1) 生活交通の充実
	小施策	② 生活道路の整備
	事業	道路新設・改良事業

事業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫補助事業
	<input type="checkbox"/> 県補助事業
	<input type="checkbox"/> 市単独事業
財源負担	<input checked="" type="checkbox"/> 国 55 %
	<input type="checkbox"/> 県 %
	<input checked="" type="checkbox"/> 市 45 %

採択年度	平成18年度	(用地着手 平成18年度)	(工事着手 平成18年度)
終了年度	平成25年度	平成 年 月 工期変更	(変更前の終了年度 平成 年度)

目的	結び世増ダムへのアクセス道路としても重要な路線である。 しかしながら、当地区の東端の巻地区には砕石場が操業しており、砕石運搬用大型ダンプの往来が激しい上、現況路線は狭隘な箇所が多く、住宅密集地を走行するため、児童及び生徒への交通事故が危険視されるとともに沿線家屋への振動や騒音が激しい状況である。 そこで、本路線を整備することにより住宅密集地を迂回することが可能となり、交通安全確保ができ、振動や騒音からも回避できることから早期に整備するものである。	内容	○道路規格 3種3級(40km/h) ○全体延長 L=1.48km ○道路幅員 W=10.5m (車道幅員 6.0m 2車線 路肩1m×2 歩道幅員 2.5m) ※採択年度は平成18年度となっているが、当事業は旧南郷村時代からのもので平成14年度から実施。平成14年度から平成17年度までは単独事業で100%負担しており、下記事業費の中に含まれている。
-----------	---	-----------	---

事業費	○ 当初計画時総事業費 568 百万円		○ 再評価時総事業費 568 百万円		(単位:百万円)			
		～ 19年度	20年度	21年度	22年度	小 計	23年度～	合 計
	当初計画 (うち用地費) 【H18年4月採択】	160 (12)	85 (10)	113 (28)	76 (14)	① 434 ② (64)	134 (9)	568 (73)
	計 画 (うち用地費) 【H 年 月 変更】	160 (12)	85 (10)	113 (28)	76 (14)	434 (64)	134 (9)	⑤ 568 ⑥ (73)
	実 績 (うち用地費)	160 (12)	85 (10)	113 (28)	76 (14)	③ 434 ④ (64)	134 (9)	568 (73)

2 評価

(1) 事業の進捗に関する視点 A

進捗状況		計画全体に対する進捗	当初年次計画に対する進捗
	事業費割合	76.41 % 【③/⑤】	100.00 % 【③/①】
	(うち用地費)	(87.67 %) 【④/⑥】	(100.00 %) 【④/②】

《説明》
 全体計画に対する進捗率は、76.41%となっている。
 平成25年度の事業完了に向けて順調に事業が進捗している。

(2) 事業の必要性等に関する視点 A

必要性	○新市建設計画や八戸市過疎地域自立促進計画では、地域住民の利便性の向上を図るための整備として位置づけられている。	市民等の声	○平成21年9月29日に実施した十文字・巻河原線道路事業説明会において早期完成の要望があった。
	○現況路線は、狭隘で住宅密集地を大型ダンプが激しく往来することから地域住民及び通学児童の交通安全確保と沿線家屋への振動や騒音を防ぐため、本路線を迂回路として整備する必要がある。		○平成21年10月28日開催の八戸市南郷区地域協議会意見要望に十文字・巻河原線の早期に整備する要望があった。
	○本路線の整備により、現在整備中の市道西母袋子線を通り、観光資源を有する青葉湖や八戸市民の森へのアクセスが容易になり地域の活性化が図られるため整備する必要がある。		

(3) 事業の投資効果に関する視点 B

区分		(単位:百万円)		
主な項目		当初計画時	再評価時	増減
費用対効果分析	費用項目 ① 事業費	-	603.2	-
	② 用地費	-	9.4	-
	③ 維持修繕費	-	23.2	-
	④			
	⑤			
総費用		-	635.8	-
費用対効果分析	① 走行時間短縮便益	-	469.4	-
	② 走行経費減少便益	-	177.0	-
	③ 交通事故減少便益	-	△ 3.2	-
	④			
	⑤			
総便益		-	643.2	-
B/C		-	1.01	

《説明》

➢ 費用対効果分析手法
「費用便益分析マニュアル」(平成20年11月国土交通省)に基づく

➢ 特記事項
○事業継続の判断基準: B/C 1.0以上
○現況延長 L=1,280m 整備延長 L=1,480mであり、整備後の走行延長が伸びたことにより、交通事故減少便益がマイナスとなっている。
○費用対効果分析は外部委託で実施
受託業者:株式会社 協和コンサルタンツ
委託金額:3,045,000円

(4) 事業のコスト削減等に関する視点 A

コスト削減	○舗装や碎石にリサイクル材を使用することによる工事費の削減
	○工事の発生土を盛土や埋め戻しに再利用することによる工事の削減
代替案	○代替路線は集落内を通過する路線であり、碎石所関係の大型車両による沿道環境の悪化等に配慮し、本路線を整備することが望ましいため、代替案はない。

(5) 市民ニーズの視点 A

把握方法・内容	地域住民から本路線の早期完成の要望があることから、市民のニーズは高まっている。本路線の整備により、現況路線の交通量が減少し、車両や歩行者は、安全に走行や歩行ができる上、家屋の振動や騒音も少なくすることができる。 本路線を整備することにより、現在整備中の西母袋子線を通り八戸市民病院への搬送時間短縮や観光資源を有する青葉湖へのアクセスが容易となることから早期整備が望まれている。
----------------	---

(6) 環境影響への視点 A

配慮手法	該当項目数4項目(実施数4項目) ○再生資材を使用 ○建築機械、工事車輛には低騒音、低振動、低排出ガスの機械を使用 ○建設副産物のリサイクル推進 ○廃棄物の分別処分
-------------	--

3 対応方針(案)

総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 中止
理由	「B」評価はあるが、現在整備中の市道・西母袋子線が完成すれば世増ダムや八戸市民の森へのアクセス道路となり、現在よりも住宅密集地を通行する車両が増加し、交通事故が増え、家屋への振動や騒音が激しくなることが予想される状況である。 よって、本路線を整備することにより住宅密集地を迂回することができ、地域住民及び通学児童の交通安全確保と沿線の振動や騒音が回避できる。また、市民からの早期完成の要望があることから、本事業を継続とし、早期の完成を目指したい。		

4 行政改革委員会意見

総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 中止
付帯意見・理由等	当該事業は、平成25年度までに完了する見込みであり、順調に進捗しているものと評価する。なお、道路事業評価のあり方に関しては、今後、改めて検討する必要があるとの指摘があった。		

5 対応方針(決定)

総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 中止
理由	対応方針(案)に示したとおり本事業は継続とし、実施にあたっては行政改革委員会の意見を踏まえ、早期の事業完了を目指す。		